

**製品名: ミオシン XVI ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab14348**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	200kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MYO16
別名	MYO16; KIAA0865; MYO16B; NYAP3; Unconventional myosin-XVI; Neuronal tyrosine-phosphorylated phosphoinositide-3-kinase adapter 3; Unconventional myosin-16
遺伝子 ID	23026.0
SwissProt ID	Q9Y6X6
免疫原	ミオシン XVI 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 1050-1130

**背景**

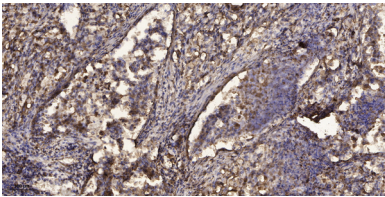
機能: ミオシンは、ATPase 活性を持つアクチンベースのモーター分子です。非従来型ミオシンは細胞内運動に関与しています。ミオ

シンの大きく分岐した尾部は膜状の区画に結合し、アクチンフィラメントに対して移動すると考えられています。脳の発達において、タンパク質ホスファターゼ 1 の触媒サブユニットの標的化に関与している可能性があります。類似性: 1つの IQ ドメインを含みます。類似性: 2つのミオシンヘッド様ドメインを含みます。類似性: 7つの ANK リピートを含みます。細胞内局在: 遊走顆粒細胞の形態を持つアストロサイトおよび解離した小脳細胞の細胞体および突起の点に見られます。サブユニット: PPP1CA および/または PPP1CC に結合します。ATP 感受性様式で F-アクチンに結合します。機能: ミオシンは、ATPase 活性を持つアクチンベースのモーター分子です。非従来型ミオシンは細胞内運動に関与する。その大きく異なる尾部は膜状区画に結合し、アクチンフィラメントに対して相対的に移動すると考えられる。脳の発達過程において、タンパク質ホスファターゼ 1 の触媒サブユニットの標的化に関与している可能性がある。類似性: IQ ドメインを 1つ含む。類似性: ミオシン頭部様ドメインを 2つ含む。類似性: ANK リピートを 7つ含む。細胞内局在: 遊走顆粒細胞の形態を示すアストロサイトおよび解離した小脳細胞の細胞体および突起の点状部に認められる。サブユニット: PPP1CA および / または PPP1CC に結合する。ATP 感受性で Fアクチンに結合する。

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺扁平上皮癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈 (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、45分)。